

最優秀賞

教えの達人

三井 一希 (日本人学校教諭：台湾)

「教える」という行為は、学校の教師に限らず多くの人が経験します。我が子に箸の持ち方を教える。アルバイト先の後輩にレジの打ち方を教える。引っ越してきたお隣さんにマンションのルールを教える。日常生活の中にはこうした多くの教える場面があります。しかし、現状、「教える」ことを教えてもらう機会はほとんどありません。多くの人が我流で、自分の教えたいことを一方的に伝えるような非効率的な教え方をしているのです。そんな時に役立つのが「インストラクショナルデザイン」です。これは科学的な理論に基づいた効果的な教え方の集大成です。

今回提案するゲームでは、このインストラクショナルデザインを誰もが簡単に学べるようになっています。教える内容は多々あれども、教える技術は、「運動スキル」、「認知スキル」、「態度スキル」の3つに必ず分類できます。そして、それぞれのスキルには効果的な教え方や手順があるのです。ゲーム内では、まず、この3つのスキルについて具体的な場面に基づいた解説動画を見て、基本的な事項を学びます。その上で、「鉄棒を教える場面ではどんな教え方がいい？」といった問題に答えていきます。全部クリアできると、教える達人として認定されバッヂが付与されます。プレイヤーは3つのスキルすべてについてバッヂを集めることを目指します。そして、バッヂを維持していくには自分が実際に教えた内容とその結果を定期的に投稿します。この投稿が他のプレイヤーの参考となり、「そんな教え方があったのか!」「そうやって声を掛ければいいのか!」との気づきの場になります。こうして上手な教え方が蓄積され、教え方の工具箱になることが期待できます。

ゲームを通じて、日本中に「教えの達人」が増えることを願っています。